



平成23年10月25日
観光庁

平成23年1月～6月における旅行の動向について

～旅行・観光消費動向調査及び宿泊旅行統計調査の震災後の結果が判明しました～

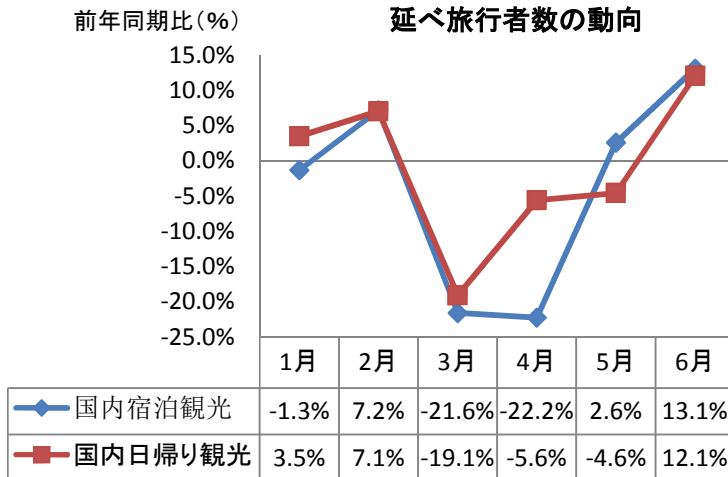
○旅行需要は総じて回復傾向にある。延べ旅行者数は6月時点で前年を上回るまでに至っているが、観光目的の宿泊施設の需要回復はやや遅れており、外国人旅行者の需要は依然厳しい状況。

1. 延べ旅行者数は、国内宿泊観光旅行では、3月及び4月が対前年比大幅減、5月以降は対前年比でプラスとなるなど、回復傾向。国内日帰り観光旅行では、3月以降、対前年比減少が続いていたが回復傾向にあり、6月は対前年比でプラス。
2. 消費額は、国内宿泊観光旅行では、3月及び4月が対前年比大幅減少。国内日帰り観光旅行では、3月が対前年比大幅減であったが、4月以降は増加。
3. 従業者数10人以上の施設における延べ宿泊者数の動向を見ると、3月は大きく落ち込んだものの、徐々に回復傾向。外国人の動向は、回復途上にあるが前年の水準までは至っていない。
4. 「観光目的の宿泊者が50%以上の施設」と「観光目的の宿泊者が50%未満の施設」を比較すると、観光が目的で訪問する宿泊者の多い施設(50%以上の施設)は前年同月比の減少率が大きい。
5. 第2四半期(4～6月)の同一施設における一人当たり平均宿泊数は、1.35泊。
都道府県別では第1位 福島県(2.28泊)、第2位 岩手県(1.94泊)、第3位 宮城県(1.67泊)となっている。

(注意)「旅行・観光消費動向調査」は、旅館・ホテル以外の宿泊先(キャンプ場、知人・親類宅等)を含む一方、「宿泊旅行統計調査」はこれらを含まないなど、調査設計が異なるため、必ずしも結果は一致しない。

旅行・観光消費動向調査(個人に対する調査)

1. 日本人の延べ旅行者数



(単位:万人・回)

平成23年	国内宿泊観光旅行	国内日帰り観光旅行
1月	1,134	1,260
2月	1,089	1,212
3月	1,097	1,269
4月	853	1,614
5月	1,766	2,325
6月	1,363	1,985

2. 消費額(単位:億円)

平成23年	国内宿泊観光旅行	前年同期比	国内日帰り観光旅行	前年同期比
1月	5,738	-7.7%	1,974	-16.6%
2月	5,447	-1.8%	2,010	10.6%
3月	5,501	-26.0%	1,932	-31.6%
4月	4,270	-25.7%	2,984	8.2%
5月	9,275	0.7%	3,630	1.4%
6月	6,480	-4.0%	3,487	31.9%

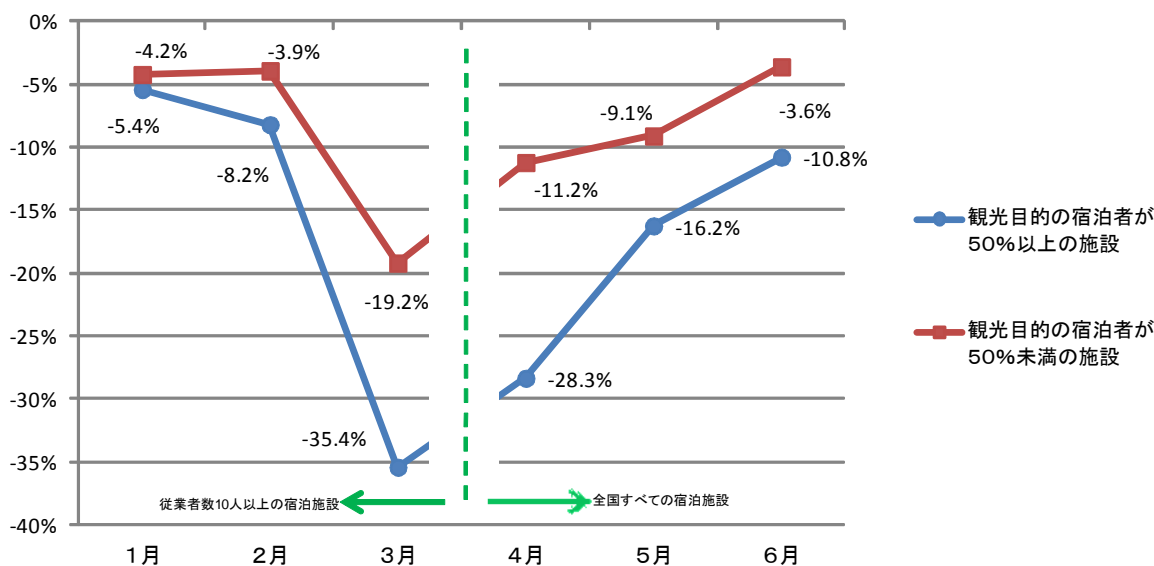
(※)詳細は、同日付けプレスリリースの「旅行・観光消費動向調査結果(平成23年4-6月期(速報))」を参照ください。

宿泊旅行統計調査(宿泊施設に対する調査)

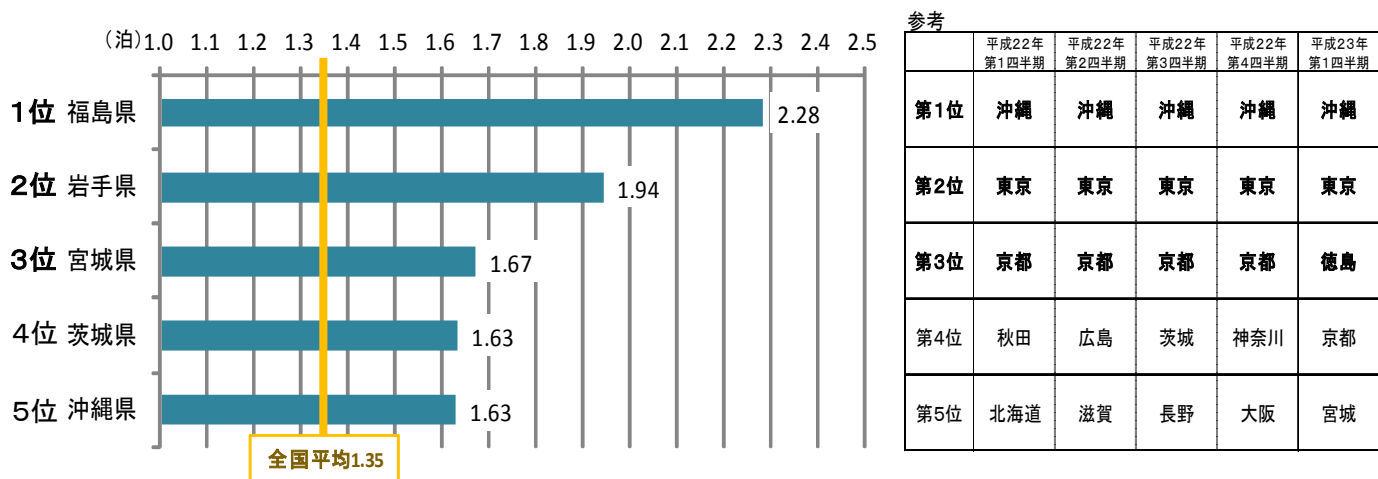
3. 延べ宿泊者数及び前年同月比(従業者数10人以上の施設による数値)

	延べ宿泊者数(人泊)		うち外国人延べ宿泊者数(人泊)	
		前年同月比		前年同月比
1月	24,394,620	-4.77%	1,812,070	2.65%
2月	25,309,900	-6.06%	1,979,090	-7.64%
3月	23,202,510	-27.52%	990,650	-52.62%
4月	20,865,990	-20.06%	453,660	-82.59%
5月	26,045,270	-11.39%	733,830	-65.71%
6月	24,417,570	-5.64%	1,051,660	-46.97%

4. 宿泊目的割合別 延べ宿泊者数の前年同月比(平成22年・23年1月～6月)



5. 同一施設における1人当たり平均宿泊数(平成23年第2四半期(4～6月期))



参考

	平成22年 第1四半期	平成22年 第2四半期	平成22年 第3四半期	平成22年 第4四半期	平成23年 第1四半期
第1位	沖縄	沖縄	沖縄	沖縄	沖縄
第2位	東京	東京	東京	東京	東京
第3位	京都	京都	京都	京都	徳島
第4位	秋田	広島	茨城	神奈川	京都
第5位	北海道	滋賀	長野	大阪	宮城

(※)詳細は、同日付けプレスリリースの「宿泊旅行統計調査結果(平成23年1-3月期(暫定値)及び4-6月期(暫定値))」を参照ください。

<問い合わせ先> 観光庁観光経済担当参事官付 神山、北島
 TEL 03-5253-8111(27-219、27-214)
 03-5253-8325(直通)
 FAX 03-5253-1563